

令和3年度 実践的放射線治療人材育成セミナー Python講習会・初級編（物理士・技師向け）

主催：一般社団法人 広島県医師会
広島がん高精度放射線治療センター（以下HIPRAC）
広島大学大学院医系科学研究科総合健康科学専攻医学物理士プログラム
広島大学がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン
広島大学〔世界最高水準の放射線治療チームの育成と地域及びアジア近隣諸国への展開〕

最新の放射線治療では、治療計画から出力されるDICOM情報やIGRT（画像誘導放射線治療）に使用される画像データを取り扱うことが多くなっています。今回のセミナーを受講することで、治療計画データ（DICOM RT）や画像データの解析ソフトウェアの作成方法を一から学ぶことができます。皆様奮ってご参加ください。

- 1.日 時

令和3年10月16日（土） 13時00分 ～ 17時05分
- 2.講習会形式

Zoomウェビナー
- ※講習会参加者には、Google Colaboratory・Zoomウェビナー接続準備マニュアルをお送りしますので、講習会当日までに接続確認をお願いします。
- 3.対 象

医学物理士、広島県内外の放射線治療専門放射線技師、放射線治療に携わる診療放射線技師、など
- 4.定 員

上限500名 ※定員になり次第、受付を終了しますので、予めご了承ください。
- 5.参加費

無 料
- 6.プログラム

Python（パイソン）は、汎用のプログラミング言語で、コードがシンプルで扱いやすく設計されており、DICOM形式の放射線治療計画データ（DICOM RT）を簡単に扱うことができます。



時間	形態	タイトル	講師
13:00		開会挨拶	HIPRAC センター長 永田靖
13:05	講義	Python講習会の紹介	HIPRAC 医学物理士長 小澤 修一
13:30	講義	Pythonが注目される理由と将来性	株式会社シュアルタ 代表 広島市立大学 協力研究員 西本 卓也
14:10	実習	Pythonのコードの書き方（変数型、四則演算）	HIPRAC 中尾 稔
14:50	実習	リニアックログデータの可視化	HIPRAC 早田 将博
15:40	実習	DICOM RT Planの読み書き	HIPRAC 松浦 貴明
16:20	実習	Winston-Lutzテスト	HIPRAC 三浦 英治
17:00		閉会挨拶	HIPRAC 医学物理士長 小澤 修一

本講習会は、Google Colaboratoryに搭載されたPythonを使い、バイナリ形式で書かれているリニアックログデータや、DICOM形式で書かれている放射線治療計画データやIGRT装置の画像データを利用して読み込み・解析・結果表示をするプログラムを独自に作成する実践型の講習会です。

- 7.取得単位
- JBMP認定医学物理教育コースが主催し、かつ機構が認定した講習会（コードF） 3単位を申請中

- 8.注意事項
1.

プログラミングに使用するPC、インターネット環境をご用意ください。（Win/Macは問いません）
2.

プログラミングに使用するPCにGoogle Chromeをインストールしてください。
3.

Google Colaboratoryを使用するので、Googleアカウントをご用意ください。
4.

参加には事前登録用のメールアドレスが必要です。

問い合わせ先 広島がん高精度放射線治療センター 事務
電 話：082-263-1330